

ガイドのための弓道入門

終了報告

9月4日(木)、宇治市の山城弓道場(太陽が丘京都府立山城総合運動公園内)にて、「ガイドのための弓道入門」を実施しました。会場のアクセスがあまり良くなく、また、いつまでも暑さが続く中エアコン無しという条件でしたが、京都・大阪・奈良から5名、関東から5名、四国から1名の11名(会員10名、非会員1名)が参加されました。

本研修は全日本弓道連盟、京都府弓道連盟のご厚意で実現したもので、当日は京都府弓道連盟会長を始めとする宇治市弓道協会の高段者で称号をお持ちの4名もの方々が講師を務めて下さいました。

先ず弓道の歴史として、弓矢が狩猟道具から始まり武器となり、明治時代に入ってから人格形成としての弓道が確立された流れや、神事とのつながりをお話しいただきました。事前に参加者から出された質問にも丁寧にお答え下さいました。

実技紹介では、小笠原流の烏帽子、直垂(ひたたれ)という装束に身を包んでの巻藁射礼に始まり、近的(28m先の的)、遠的(60m先の的)に向けての射礼を肅々と披露していただきました。間近に見る所作の美しさに感動したという声に参加者から聞かれました。

最後に参加者の殆どの方が、弓を射る体験をされました。安全面を考慮した極近似的に向けて、先生方の丁寧なご指導の下で姿勢や持ち方、構えを体験しました。

射技を行っておられない時の講師の方々は始終和やかで、参加者から当日次々と出される質問にも気さくに答えていただき、あっという間に時間が経ってしまいました。

今回の研修のように弓道場で実技を間近に見ることはなかなか出来ないと思いますが、三十三間堂の新成人による通し矢や下鴨神社などで行われる流鏝馬神事など、機会があれば皆さんも弓道に触れてみて下さい。

